

# 離農希望者の園地をJAが借り受け、果樹産地を守る就農者を育成

## JA長崎せいひ果樹トレーニングファーム（長崎県）

### 【トレーニングファームの概要】

- 所在 地：長崎県諫早市多良見町、西海市、長与町、長崎市、時津町
- 研修品目：みかん、びわ
- 研修人数：3名/年
- 研修要件：概ね45歳以下であること。原則就農する産地への定住。
- 研修内容：技術実習、農業経営座学、デモ経営（1年以上2年以内）
- 研修場所：離農を希望する農家が所有する園地（研修園地）

※居抜き方式によるトレーニングファームのため研修園地は  
研修後にそのまま就農する園地となる。

- 取組の背景：JA長崎せいひは、果樹生産部会員や優良園地の減少等を踏まえ、地域農業の担い手を確保するため、令和6年からJA長崎せいひ果樹トレーニングファームを開設。新規就農者育成のための知識、指導力、研修に必要な施設等を備える営農指導員の指導による技術習得と関係者が連携して農・定着までサポートする体制を確立。



研修園地

### 新規就農までの流れ

#### 研修生募集

- ・農協・行政への就農相談の際の選択肢の一つとして提案
- ・当JAのインスタグラムや広報誌による情報発信
- ・面談と現地視察を複数回行い就農への意思確認後に研修スタート

#### 研修・育成

- ・離農する生産者の優良園地での実地研修
- ・座学（栽培、農薬、機械）のほか、農業経営など就農に向けた幅広い内容の研修を実施

#### 就農支援

- ・新規就農に係る補助事業やトレーニングファーム整備に係る補助事業の申請等のサポート
- ・就農後の園地拡大に向けて、優良園地の情報収集に取り組み、マッチングをサポート

#### 就農・定着

- ・「居抜き」※による経営継承
- ・県、市町、農協（地元部会組織等）によるサポートを継続

※離農者の設備等をそのまま売買又は賃貸借すること。  
就農時の初期投資費用の抑制が可能。

### サポート体制

#### JA（果樹）トレーニングファーム

- ・実地研修の受入
- ・継承候補園場の情報収集、情報提供
- ・補助事業サポート

#### 市・町

- ・研修生の募集、研修生への就農支援

#### 県

- ・技術習得研修と座学による農業経営研修
- ・研修生への就農支援



座学研修

### トレーニングファームでの研修

研修期間（2年間：研修は随时スタート）

#### 1年目

##### ■生産者の優良園地での実地研修

- ・離農を希望する農家（園主）の協力のもと、継承可能な園地で技術研修を行う。

#### 2年目

##### ■デモ経営研修の実施

- ・JAが農地中間管理機構から借り上げた園地において、研修生がJA等の指導を受けながら、管理、生産、出荷等の模擬的な経営を実践。

### 成果・実績

#### 【諫早市多良見町】

令和6年度に1名の研修生を受け入れ。継承予定の樹園地で園主の協力のもと初年度技術研修。2年目は前年に研修を受けた樹園地でデモ経営を実践しており、令和8年度開業を目指している。

#### 【長与町】

研修生1名は、令和6年度は長崎県が行う技術習得研修に参加し、令和7年度からJA長崎せいひが行うトレーニングファームのデモ経営に参加。現在令和8年度開業に向け研修中。

#### 【西海市】

研修生1名は、令和7年11月から継承予定の樹園地で園主の協力のもと研修をスタート。

※現時点では修了生は0人、研修生は3名在籍。



研修の様子